

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
音楽科指導法演習		中村 礼子	演習	1	前期
必修・選択	修了要件	選択必修			
	資格要件				
学習目標	(1) 器楽実技に引き続き、幼児保育者としての実践に役立つために、童謡の基礎的な指導法を身につける。 (2) 一歩高い音楽的能力を引き出すためにピアノ練習曲の楽曲を通して実践に役立つため演奏法を身につける。(演奏の課題曲は AB グレード)				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	自由曲課題	自由曲 ピアノ演奏法 各人の自由曲決定 留意点と練習			
2	各月の子ども曲 4～5 才 4 月「音階のうた」「自由曲」	左手の基本和声による伴奏法を習得のための練習			
3	5 月「ぶんぶんぶん」「自由曲」	伴奏による暗譜奏法の練習			
4	6 月「かちかちやまの」「自由曲」	片手伴奏による暗譜奏法の練習			
5	7 月「アイスクリームの歌」「自由曲」	少しゆっくりの行進曲をリズムカルに奏でる演奏法			
6	9 月「ピクニック」「自由曲」	シンコペーションによるリズム感の練習			
7	10 月「かわいい魚屋さん」「自由曲」	付点 8 部音符と 16 部音符のスキップのリズム感の練習			
8	10 月「一匹ねずみ」「自由曲」	易しい単音を初見する奏法練習			
9	11 月「ふしぎなポケット」「自由曲」	原曲の伴奏を基本和音によって易しく編曲奏法			
10	12 月「すてきなピアノ」「自由曲」	全曲を通して 4 分音符による伴奏形の奏法			
11	1 月「幸せなら手をたたこう」「自由曲」	旋律を生かす奏法			
12	1 月「お正月」「自由曲」	左手の伴奏を基本和音に編曲して奏する能力			
13	2 月「さっちゃん」「自由曲」	8 分音符と 16 分音符のスキップのリズムの確認			
14	「自由曲」	各自の自由曲発表のための演奏法留意点の確認			
15	自由曲課題の発表 実技試験	自由曲の演奏及び演奏による課題講評指導			
参 考 書	森田百合子・山本敬・秋山衡「幼児の音楽教育」教育芸術社 2000 自由プリント 編者ドレミ出版「名曲 1 1 0 選」ドレミ楽譜出版社 1997				
学習上の注意(自己学習、学外学習など)	出席状況、予習・復習の自己学習の平常の練習を重要とする。 課題曲の童謡は毎回テスト形式で発表する。				
評価の方法と時期	前期終了日にピアノ実技試験を実施する。場所は、ピアノ個室。				